

第2分科会

親と先生のしゃべり場

それでも頑張る子どもたちのために

助言者 関根 幸子 (新堀小教員)
村上 米子 (新座四中教員)

司会 米橋 一美 (新堀小教員)

記録 垣見 尚哉 (学童保育)



1. 参加者紹介

元教員 2名
学童保育の会（八石小） 4名
学童 指導員 1名
市教組 教員 5名
石神小6年の父 1名
学童保育の会会長
中1・高2の母親 1名
性と子育てを考える会 1名
第四小、4年・6年の母 1名

司会 自己紹介をしていただいて、そのあとに問題提起をさせていただきます。

A 石神在住の元教員です。現場を離れて少し感覚がわからなくなっているのですが、今年はOBの立場でいろいろと現場の声を聞けたらと思い参加いたしました。

B 去年まで三中に勤務していました。学校というものは現場にいた時はわかりづらいものだった。現場の声を聞きたいと思い参加いたしました。

C ひまわり保育室（八石小学童保育）の保護者です。子どもは中1、小4、年長です。保育園で保母として働いております。

D ひまわり保育室（八石小学童保育）から4人で参加しました。いろいろな方と出会え、話ができ、ありがたく思っております。

E 新座の学童保育で長い間、指導員として働いています。学校の現状等が意外とわからなかったりするので、いろいろとお話を聞きたいと思い参加いたしました。

F 東野小に勤務している教員ですが、いろいろと勉強をしないで知らないでいると怖いことがいっぱいあるので、ずっとずっと勉強し続けなければいけないと思い参加いたしました。

G 石神小6年の保護者です。昨日、現場をやめた方とお会いしたが「元気だなあ」「いい顔をされて焼き物をされているなあ」と思いながら、

厳しい学校の現状の中、子ども保護者とどのように接していけば良いのか伺えたらと思い参加いたしました。

H 堀ノ内在住で中2と小2の子どもがいます。仕事柄なかなか地域の活動に参加をすることができないが、今日は勉強させていただけたらと思い参加いたしました。

I 中1と高1の子どもがいます。いろいろな面からお話が聞けて良いアドバイスがいただけたらと思い参加いたしました。

J 民間の教育研究団体の『人間と性 教育研究協議会』で本部管理をしています。障害児教育の現場に31年いて早々と諸事情から退職をして、都立七尾養護学校の「心と体の学習裁判」の事務局のお仕事もしています。障害児学級の生徒が担任から性虐待を受けていた裁判などの裁判等を行っています。

K ひまわり保育室（八石小学童保育）に小4の子どもが通っている母親です。今日は良いお話が聞けたらと思い、参加させていただきました。

L 中1と、ひまわり保育室（八石小学童保育）に小3の子どもが通っていますので、いろいろな事が聞けたらと思ひまして参加させていただきました。

M 石神小で5年生の担任をしております。

N 第二中学校で、2学年だけで生徒数346名で9クラスの学年主任をしております。適切な助言になるかわかりませんが、子どもといま私が立ち向かっていて見ている事から私が日頃考えている事や、一緒に何かを取り組めたら良いなと思っている事をここでお話できるのかなと思っております。

O 新堀小4年生の担任をしております。子どももこの仕事も好きだからここまでやって来れたが、今やこれからの事を考えると小学生の保護者の方等の本音を聞きたいと思ひます。

P 埼玉土建の主婦の会より参加しました。新座四小の4年と6年の子どもを持つ母親です。

2. 問題提起

< 学童保育の会より >

1. 学童の現状

- ・ 新座市には市内の小中学校すべてに 1 保育室ずつ計 17 の保育室が設置されていて、新座市では 4 年生まで希望者全てを受け入れており、待機児童はおらず、夏休みに限っては 5・6 年生も受け入れている。
- ・ 06 年 4 月から指定管理者制度が導入され、「新座市社会福祉協議会（社協）」に随意指名、期間は 3 年となっている。
- ・ 児童数は 4 月 15 日現在で 1,201 名で、在籍が 100 名を超える保育室が 1 室、90 名から 99 名の保育室が 3 室、80 名から 89 名の保育室が 3 室、70 名から 79 名の保育室が 2 室となっており、新座市の子どもの数はそんなに増えていないが、学童に通う子どもは 10 年前と比べ倍になっている。
- ・ 指導員は①嘱託指導員、②臨時 1 種指導員、③臨時 2 種指導員（登録）と 3 段階に別れていて、①と②は常勤で基本的に仕事の内容は変わらないが、労働条件が違う（①は月給制で昇給有、②は時給制で昇給無）。職員の配置形態は、まず、すべての保育室に嘱託指導員が 2 名配置され、定数により嘱託指導員を 1 名増または臨時 1 種指導員を配置。

常に定数の指導員配置が必要なため、嘱託指導員または臨時 1 種指導員が休暇などの際は、臨時 2 種指導員を配置するのだが、現在、定数に見合う常勤指導員が配置されていない保育室が存在している。（未補充）

- ・ 国は「全児童対策」として、すべての子どもが放課後を安全に過ごすため『放課後子どもプラン』を文部科学省と厚生労働省が主体となり進めている。そのため、東京・神奈川の一部で学童保育の廃止が始まっているが、新座市は現在のところ「学童は絶対に廃止しない」と言っている。

2. 学童の課題

- ・ 指定管理者制度が導入され 3 年になり、来年度更新になるが、学童保育の会では引き続き社協への特命指定と、出来る限り長い期間の指定を要請し、先日の選考委員会で、引き続き社協に指定し、期間は 5 年という方向に要請が一定反映された。
- ・ 去年から指導員の未補充が大問題となっており、学童保育の会として、

検討委員会を設置し、指導員の労働条件改善の取り組みは、父母も子どもを安心して預けるためには絶対に必要な運動として、①全保育室で未補充問題の説明会を開催、②署名活動に取り組む、③市側との要請を繰り返す運動、を展開。署名に関しては1万筆を目標に取り組んで学童保育の会としても志木駅・ひばりが丘での宣伝活動をし、結果2万5千筆が集まった。

・ 署名は市長に直接手渡しをし、「指導員の待遇と関係があるか検討をする」「なんらかの予算化を図る」と約束。結果、①各保育室の最低指導員数は3人とする。②その際、定数40名以下の保育室は嘱託指導員2名＋臨時1種1名とし、定数41名以上は嘱託指導員3名とする。③臨時1種の時給を1,010円から1,060円となる。しかし08年度に入っても8名の未補充状態が続いており、引き続き学童保育の会の課題となっている。

・ 大規模問題に関して、国は子どもたちの生活環境としても、指導員の働く環境としても認識し、2010年度から71名以上の保育室には補助金を出さないと決定したため、全国の71名以上の在籍がある保育室では、補助金を受けずに現行のまま保育室を運営するか、70名以下になるよう二分し、補助金を受けるか等の対策がすべての自治会で始まっている。新座の学童保育室では、現在9つの保育室が71名以上となっている。適正な人数はおおむね40人が妥当という見解もあり、補助金削減だけの問題でなく、学童保育の会は分離・分割をどう進めていくかが現在の課題となっており、市側も検討がはじまっている。6月議会にて市長は「十分理解している。また、大規模だけでなく、学校の敷地外に保育室がある2校も安全上問題と認識している」と答弁している。

< 市教組より >

・ 新堀小では学級活動（学級会）を活発に行うようにし、子ども達が意見を述べ合う場を積極的に作るようにして、個々の状況を把握できるように努めている。

- ・ 人前で話をするのが苦手な子どもが増えてきている。
- ・ 縦割り班を組み、遠足・給食・まつりなどを行い、6年生をリーダーに他学年との関わりも持てるようにしている。
- ・ ここ最近話題のLD（学習障害）やADHD（注意欠陥/多動性障害）の児童が増えてきているのは事実であり、個々の対応をしなくてはいけな

い児童が増えてきている。そういう子がいるクラスは、クラス全体が落ち着かなかったりすることがあるのも事実である。

- ・ いろいろな子どもがいる中で、一人一人を同じように指導したり声かけをしても難しいものがあるので、まず状況を掴んで特別に対応が必要な子どもには担任1人で対応するのではなく、他の教員や校長、みんなで対応することが大事であるのでは？

- ・ いろいろな問題を抱えている子どもに対し、学校だけでフォローしきれなくなっている子どもいる。

- ・ LDやADHDの子どもでも家庭では普通の子どももいる。

- ・ 不登校になってしまう子どもは学校でも家庭でも自分の居場所が少なくなっているのが、原因の1つではないだろうか？

- ・ 現代の子どもは、学校でも家庭でも「良い子」でいなくてはいけなかったりし、学校でも頑張り、家庭でも親の顔をうかがったりと息抜きができる場所が少なくなっているようで、本当の自分でいられている子どもが何人いるのだろうか？

- ・ 中学生は思春期の真っただ中で、小学校で勤勉の土台を作って中学にあがり、若干、教育のシステムも変わるが、社会力を身につけ、3年後には自分自身の進路を見つけなくてはならなかったり、アイデンティティーを確立しなければいけない年齢。

- ・ 中学3年間は、心身ともに成長し人間としても成長する3年間である。

- ・ 教師になりたての頃は校内暴力の第一波の頃だったが、教師が保護者から信頼されていて、教師と保護者が協力して子育てができていた。

- ・ 以前と比べ、子どものコミュニケーション能力がなくなっているし、地域との関連や遊びの文化が無くなってきている。

- ・ ゲームやいろいろなものが流行り、幼児期からの教育（塾・習い事）が先行するなかで、子どもがどのように変わってきたかという、考えなくなったり、人と関わりを持たなくなったり、学力がだんだんつかなくなってきたと感じる。

- ・ 美術の担当をしているが、絵を描けない子どもが増えてきている。

- ・ 携帯文化・親子関係・子どもの成長にも問題があるのでは？

- ・ 携帯文化によりさらにコミュニケーションが取れなくなり、言葉で交流をすることが減り、そこから始まるいじめや、仲間からの圧力などで常

にピュアプレッシャーを感じながら、ドロドロの中で生活している子どもがいる。

- ・ 引き籠った生活の中で行われていて、遊びや学習や行事の中でもまれていくことを避けるようになってしまい、学校でしか味わえない楽しさにも否定的な子どもがいる。

- ・ ADHDの生徒や自閉症の生徒をかかえているのだから、人間関係のトラブルは日常茶飯事の中、まわりの子どもがその事を受け入れられず、パニックになったり騒然となったたりし、学級経営が大変になってきている。

- ・ 保護者が変わってきているのでは？ そう思う点として

- ① 子供のつまづき等の話をしたくても学校に来てくれない。一切応答がない。

- ② 虐待・放置・ネグレクト・子育てをギブアップする保護者がいる。

- ③ 子どもが嫌い・受け入れられないと言い放ってしまう。

- ④ 携帯を無防備に与えすぎる。(フィルタリング等をしない)

- ⑤ 何か学校で起きると、すぐに学校に一方的に文句を言う親が増えた(原因を考えない、いじめにも原因があるはず)。

- ⑥ 経緯について考えず、他人のせい・学校のせいにばかりする。

- ・ 教師として、保護者と子育てのパートナーでいたいと思っている。

- ・ 着任後1年での教員配置の変更などで、子どもを理解できた頃に移動となることがある。

- ・ いろいろな悪環境が子どもにも親にも教員にも問題である。

- ・ 貧困もはずせない問題で、現在でも保護者の都合で数人の生徒が転入出している。

- ・ 学力テスト等にお金をかけたり、教職員から駐車場を徴収したりする新座市は貧乏。

< 性と子育てを考える会より >

- ・ 子どもがありのままで過ごせていますか？

格差と貧困が広がる中で、目の前の子どもには、家庭・学校・地域で誰か一人でも受け止めてくれる人がいるでしょうか？

- ・ 思春期の子供の自立の声が聞こえますか？

腰パン・見せブラ・汚ギャルで何を表わしていると思いますか？

・ 『人生は自分探しの旅』とも言われますが、思春期の子供がアイデンティティーの確立に悩んでいませんか？

思春期の3つの出会い（大人の体との出会い、大人の自分との出会い、好きな人との出会い）に支援を！

・ 大人の体への変化については、性教育・ジェンダーバッシングの中で、学校ではほとんど教えられていなく、特に男の子は家庭でも教えてもらえる事が少なく、戸惑いが大きい。

・ 『らしさ』の偏見、押しつけに注意が必要で、何気ない会話（ホモ・オカマ）や教科書の「異性を好きになる」「フツウの結婚・家庭」などの言葉に傷つき、違和感をもつ子供もいる。

・ ADHD多様な性を考えるサイト、「虹色」レインボーカレッジなどの存在を知らせたいと思う。

・ ネット上での虐めが多彩化している。

・ 他人との関わり方がわからない子供が増えている。

・ 多様な理由から学校で性教育を行うことが難しくなっている。

3. 話し合い

F 4年の授業で性器の名前は教えている。

P 上の子の授業で性器の名前を教えることについてビックリした。

H 自分の子どもがLDやADHDであっても、その事実を受け入れようとしない保護者がいる。

N LDやADHDであっても教師の適切な指導や細かい説明をしてあげることにより理解をすることができる。時間はかかってしまうが、周囲がその児童を理解し認め合いカバーしあう事で乗り越えられる場合もあり、その努力・協力が必要。

F ADHDと診断はされていないが、それに近い子どももいる。

J 長女の友人の子どもが自閉症を抱えていることに医師の診断より先に気がついたが、長女には医師の診断を受けるように進言することが、なかなかできなかった。

K 職場で息子の上級生等を注意することがあるが、そのせいで息子が学校でいじめられないか心配だが、学校に連絡しても適切な対応をしてくれ

ずショックだった。

C 中学生の娘が本人の希望で六中校区から五中に通っているが、友人関係にストレスを抱えているように見受けられることがある。今日のお話を聞いて、職場である保育園でも周囲の支えが必要なお友達がいることや、みんなで支えていくことが必要だと教えたいと思った。

F 『保健室登校』（自分の教室に入ることができず、登校後保健室で勉強や給食をとったりすること）をする子が増えてきていて、保健室の取り合いにあることも・・・「やだ」「むり」を多用する子供が増えている。

O 異年齢はもちろん同級生とも遊べない子どもが増えている。学級レクを促し行い、生徒同士の交流を図るようにしている。連絡もなしで懇談会を欠席したり、「飲み会なら出る」という保護者もいて、保護者同士の交流もうまくできていないと思う。

A 子どもの居場所について教職員当時は考えていたが、今振り返ってみると、自分が子どもの頃は自分の居場所は自分で作っていたのでは？ 大人が子どもの居場所に介入しすぎたのでは？ 与えすぎたのでは？ と思う。今の子ども達にはたくましさが無くなってきた。巧みないじめ・巧みなズルさ・などが今の子には身に付いている子どもが多いように思えるが、それは誰のせいかと考えるが答えが出ない。

B 学校はたいしたものじゃない。子どもを虐げているのは世の中で、世の中全体を変えていく必要がある。今の日本は尋常ではない。

J 子どもの貧困が研究されていて著書が出ているほど問題。

A 子どもは悪くない。悪いのは世の中ではないか？

B 今年に入って9月までで硫化水素で自殺者が500人以上出ていたり、北海道の中学生の3割強がうつだったりしている。

N 子ども達に起こっていることは、いろいろなことの結果。乳幼児期の仲間・空間・時間の3間が大切だと思う。今の子ども達は生活が便利になりすぎているのも、いろいろな面での発達を利害しているのでは・・・。筋の通らない事が多すぎ、教育も政治も通りが通らなくなってきているが、子育ては親の責任であり本来はとっても楽しいもの。

市への要望事項

1. 学習指導や学級経営面で、支援員の要請があったら速やかに対応してください。
2. 指導員の未補充状態を速やかに改善してください。
3. 71人以上の大規模学童保育室を早急に改善してください。

申し合わせ事項

いろいろと気がついたところで、声を出していきましょう。